

1 事業概要

		課名	商業・市街地活性化課	事業No.	223
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		2	飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			第2期飯田市中心市街地活性化基本計画	
法令・例規等			中心市街地の活性化に関する法律		
事業目的	対象	中心市街地			
	意図	活性化のための事業が展開され、中心市街地の魅力が向上し、来訪者が増加する			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	<p>次期中心市街地活性化基本計画の策定から実行に至るまで、関係する市民や地域、事業者からなる「飯田丘のまち会議」を開催し取り組みました。次期中心市街地活性化基本計画は、令和2年6月の内閣府認定を目指し進めています。</p> <p>賑わいイベントの開催及び、日常の賑わいづくりに寄与するまちなか回遊促進事業を実施しました。明治大学との共同研究では、裏界線の可能性について取り組みました。</p> <p>新デジタル技術5Gを活用したまちづくりの取り組みとして、KDDIと連携し、丘のまちのファンづくり「丘のまちメンバーズ制度」を創設しました。</p> <p>電気小型バスの運行事業を効果的に進めました。</p>		中心市街地活性化協会負担金			1,400					
			次期中活計画策定業務			5,713					
			まちなか回遊促進事業			125					
			明治大学との共同研究事業			250					
			飯田丘のまちメンバーズ実行委員会負担金			1,000					
			電気小型バス運行事業			2,136					
			その他の経費		2,210						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	第3期中活計画に基づく事業の着手数	件	-	-	-	-	-	-			
	電気小型バス運行便数	便	1,000	744	1,000	936	1,000	996			
	まちなか賑わいづくり事業実施回数	回	4	2	4	2	4	4			
	大学等との共同研究事業数	件	-	-	2	2	2	4			
	デジタル技術の活用による関係人口数	人	-	-	-	-	-	98			
1年度決算(千円)	予算額	15,126	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	12,834	(国) 社会資本整備総合交付金 (4.5/10)								
	財源の状況	国庫支出金	890	(そ) ふるさと寄附金 131千円							
		県支出金	0	(そ) 繰越金 1,089千円							
		地方債	0	30→1 繰越明許費 1,979千円							
		その他	1,220								
一般財源	10,724										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	6	13	14	12,749	10,698	中心市街地活性化事業推進事務費
2	1	7	1	6	13	22	2,377	2,136	電気小型バス実証運行事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		第2期飯田市中心市街地活性化基本計画の進行状況について協会から意見を頂きました。また、協会の実施する事業に主体的に関わり、それぞれの事業において成果を上げることができました。次期中活計画の策定においては、多様な主体の協働により実効性のある事業の検討を進めることを目指し「飯田丘のまち会議」による市民会議において、中心拠点の将来像を共有し、実行に取り組むことで進めています。							
上記の課題解決のための有効策		飯田市中心市街地活性化協会の事務局である飯田商工会議所、(株)飯田まちづくりカンパニー、市が連携を取りつつ、市民・団体がより主体的に取り組むよう働きかけることが大切です。							
次年度に向けての取り組み		飯田市の中心市街地、圏域の中心拠点としての魅力向上を目指し、次期飯田市中心市街地活性化基本計画の認定(令和2年6月予定)後は、市民や関係団体等の共創と協働により、29の推進事業に取り組みます。新型コロナウイルス感染症の影響も見極めながら、取り組みを調整しつつ、事業推進をはかります。							